

「災害科学に関する最新研究成果の情報交換会」を実施しました（2021/1/21）

テーマ：東北大学と名城大学の連携
 場所：オンライン

東北大学と名城大学が 2019 年 10 月 28 日に締結した包括連携協定に基づく活動の一環として、1 月 21 日（木）、東北大学災害科学国際研究所と名城大学自然災害リスク軽減研究センターが、共同でオンライン情報交換会を実施しました。これまでに、3 回（2020 年 7 月 10 日・9 月 18 日・11 月 19 日）の情報交換会を実施しており、今回が第4回となります。

本情報交換会には、民間企業（トヨタホーム（株）、（株）ミサワホーム総合研究所、プライムライフ テクノロジーズ（株））も参加しています。今回の情報交換会では、東北大学で開発している X-GIS（eXtended Geographic Information System）の紹介があり、それに関する街づくりの実践的な議論が展開され、12名の参加者がありました。

当日の司会は、溝口敦子クロスアポイントメント教授（地域・都市再生研究部門 計算安全工学研究分野）が担当しました。

<発表>

X-GIS の紹介

寺田賢二郎（当研究所 地域・都市再生研究部門 計算安全工学研究分野）

森口周二（当研究所 地域・都市再生研究部門 計算安全工学研究分野）



オンライン情報交換会の様子

文責：溝口敦子（名城大 自然災害リスク軽減研究センター、地域・都市再生研究部門）
 森口周二（地域・都市再生研究部門）